

NOW OR NEVER

- CIC 留学 Diary -

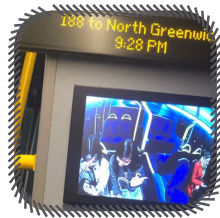
異文化コミュニケーション学部
〈2019-2020 留学マガジン〉
2020年12月発行

編集長： 山下智恵理
メンバー： 鈴木悠介 高島海人
杉本萌生 田中佑茉
デザイン： 廖秉睿

立教大学異文化コミュニケーション学部
171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1



SERENA LONDON



登下校はロンドンバスで何度乗ってもテンション上がります！



9:00 学校 7:30 登校 6:30 起床



一番お気に入りだったパブで誕生日を祝ってもらったとき！

13:30 フリータイム 23:00 宿題



日によってロンドン市内で遊んだり、お家でフラットメイトとゆっくりしたり、近所のパブでビールを飲んだり...正直、毎日かなり暇でした(笑)



0:00 就寝

留学中のある



8:30 起床 9:00 学校 15:00 自由時間

ミシSSIPPI大学のK-popダンスサークルに入っていました。ダンスを習ったことはなかったので新鮮だった。



17:00 ジム・ダンス



19:00 夕食

20:00 フリータイム 22:00 課題



自由時間や土日は友達とご飯に行ったり、遊びに行ったりしました。僕の学校はとても楽でした。



ミシSSIPPI大学の生徒ホールとスタジアム。生徒ホールでは勉強したり、ご飯を食べたりしました。スタジアムは一回だけアメフトを見に行きました。

0:00 就寝

MASATAKA MISSISSIPPI



冬休みの一週間を使って、フロリダでファームステイ（有機農業体験）をした。寒いNY（留学先）から逃げ出したいという思いと、世界中の人と出会えるチャンス待ち望んで出発！現地ではアメリカ、ベルギー、ベネズエラ、パレスチナの友達と共同生活を送った。



一日のスケジュールとして、午前中はホストファーザーから持続可能な生産方法を実践的に学ぶ。中でも特に驚いたのが Hydroponics（水耕栽培）。土を使わず、水と液体肥料だけで植物を育てる方法である。

後日 NASA に遊びに行ったら、なんと同じタワー型水耕栽培装置を発見！提供されるハンバーガーのレタスはそこから採っているというから面白い。その他にも、バイオガスや汚染された環境を浄化するキノコの役割など、一つ一つ丁寧に教わった。



昼食を食べ終え、午後はフリータイム。家の裏に湖があり、ボートやカヤックが使い放題だったのがなんといっても最高だった。湖の上で眺める夕日が何よりも幸せな時間だった。（フロリダの湖にはワニが潜んでいるので落ちないように要注意！）

CHIERI

Farmstay in Florida

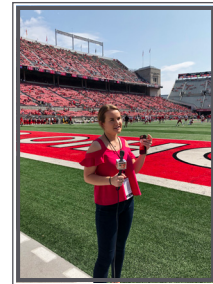
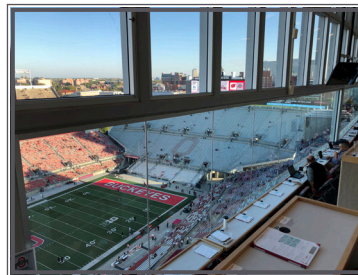
あの特別な



BENJAMIN

Game Shooting in Ohio

大学のチャンネルである BUCKEYE TV の一員として、カメラマンを務めた。本番が始まる1時間も前にスタジアムに着き、セキュリティチェックを済ませて、記者やレポーター専用の場所がある階に登った。眺めの良い席が設置され、当日のプログラムも用意されていた。ここではハンバーガーやコーヒーなども無料で食べ放題だった。いろんなテレビ局の人たちが揃って雑談している様子が見えて面白かった。



BEFORE



ゲームの開始時間に近づくにつれ、観客が徐々に入場していった。同時に、余興としてチアダンスなどによるパフォーマンスがフィールドで行われていた。

AFTER



ゲームが始まると、全体をうまく撮影するため、上の階に登ってカメラを設置した。非常に激しくて楽しいゲームを期待したが、ボールについていくため、カメラを動かすのに必死だった。ゲーム後、記者会見でコーチと選手に取材をし、一日のミッションを完了した。

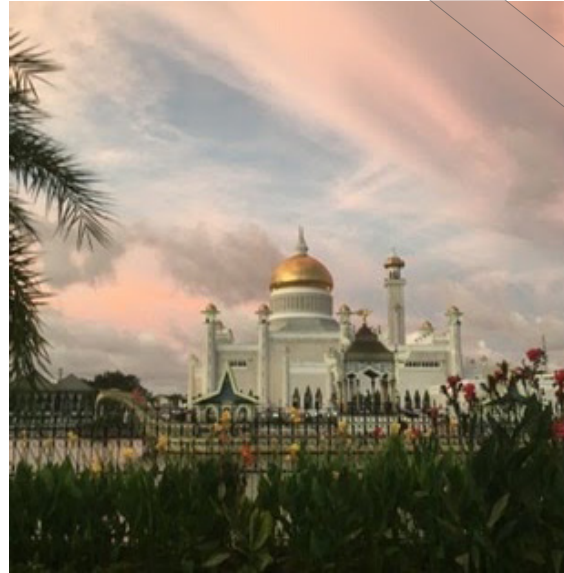


今こそ恋しいあの瞬間！

人生が変わった8ヶ月間

生き方が変わりました。留学前は常に何かに追われて息苦しく、思いやりのない都会の街を歩くと虚しくて仕方ありませんでした。そして、それを諦めて受け入れていました。しかし、温かく寛容で、時間がゆっくり流れるブルネイで過ごしているうちに、せわしなく動き回って苛立っていた日本での自分が馬鹿らしく思えました。好きなものを食べ、友人とくだらないことで笑い、悩んだら窓の外から見える自然に癒してもらい、そのような日常に今までにないほどの幸せを感じました。留学を経て、これからは「やらなければならないこと」に縛られず、自分が幸せになるための選択をする、という人生の指針が立ちました。

Konatsu、ブルネイ



Moeno、オーストラリア

初めてアルパカに触れて、自然の中をお散歩しました。とても大人しくてかわかったです。暑いので毛はカットされていて、想像していたアルパカとはちょっと違ったけど、動物と触れ合えて新鮮な気分でした。

新鮮だったお散歩体験

週3で通うほど 好きだった한강！

ソウル市内の東西に流れる川である한강(ハンガン)はソウル市民の憩いの場所です。季節が良い時期には週3回も通い、河原でピクニックをしたり花火を見たりしました。한강(ハンガン)ピクニックにはチキンとビールが欠かせません！配達サービス(ペダル)を利用すると、電話一本でチキンを頼めるのですごくオススメです～！

Kiko、韓国



憩いの場だったバル

学校近くのバルがとても印象に残っている。基本的に朝ごはんを食べずに学校へ行っていたため、毎日休憩時間はそのバルに腹ペコの状態で向かった。頼むメニューは決まってトルティージャデパタタスと牛乳。途中からはそこに行くことが学校へ行く原動力にもなっていた。通ううちに、店主のおばちゃんと常連客という間柄になり、居心地が良くなった。安心する憩いの場としてそのバルがあったことは、傍から見れば何てことないと思うかもしれないが、間違いなく私の留学を支えてくれた場所だ。そして、環境が変わったとしても自分の好きな場所や空間を見つけることは大事だと感じた。

Masaki、スペイン



イギリスへの留学が決まり、カラオケが大好きな私はしばらくカラオケには行けないとがっかりしていました。しかし、ヨークセントジョン大学では毎週土曜に大学のパブでカラオケナイトが開催されていることを知り、それから頻繁に行くようになりました。エントリーに2ポンドを払えば、ドリンクは一杯1ポンドで買うことができ、まさに楽園でした。日本のカラオケとは違い、一人がステージに立って歌わなければいけなかったため、歌うときは少し緊張しました。しかし、みんなの大好きな One Direction を歌うことで、観客を沸かすことができました。星野源の曲がなかったのは残念でしたが、とても楽しい思い出になりました。

世界共通だったカラオケ

Kaiya、イングランド

災難の連続だった留学スタート

留学初日、大学の手違いで、2つあるキャンパスのうち到着したほうではないキャンパスが自分の所属になるとその場で知らされた。そのため、30km離れた郊外のキャンパスまで1人でタクシーを拾って向かう羽目になった。さらに、中国では電子決済が普及していて、学食すら現金は使用不可だったため、初日から3日間は現金でも買い物が出来るスーパーで水と食パンとイチゴジャムを買って食いつないだ。しかも事前に用意していたSIMカードが何故か使えず、知らない土地で食事もまともに摂れず、さらには誰にも連絡を取れない状態で3日程過ごすことに…

Takehiko、中国

初日に運んだ計40kgの荷物



綺麗だったストリートアート

私はニュージーランドの中でも南島、オタゴにあるダニーデンという市に留学していました！ダニーデンはストリートアートが有名で、街中の壁や床など、至る所に大きな絵が描かれています。どれも綺麗で大迫力でした。

ほんわかするような微笑ましいアートもあれば、ダークなメッセージ性を持ったアートもあり、いろんな作品が楽しめて美術館のようでした！日本には馴染みのない文化なのでとても珍しくて面白かったです。

Momoka、ニュージーランド



自然豊だったニュージーランド

留学中はよく海へ遊びに行き、旅行もたくさんして、ニュージーランドの自然を満喫した。ニュージーランドはとにかく自然がすごい！留学先のダニーデンでは野生のアシカやペンギンを見ることができた。旅行先のクイーンズタウンでの、連なる山々の景色や、湖をジェットボードで駆け巡ったスリルは格別である。数々の自然の中でも、一番感動したのがテカポの星空だ。南十字星や天の川、流れ星まで見ることができた。望遠鏡で木星や土星を見たり、満天の星空の下で温かいココアを飲んだり、忘れられない体験になった。

Masaki、ニュージーランド

とにかく家族愛が強すぎた ニュージーランド

毎週末のみならず、毎晩早い時は夕方から、遅くとも18時には家族全員揃って家で過ごす日常や、長期休暇は家族で連泊して一緒に過ごす時間をとても大切にしていたことに驚いた。日本のように娯楽施設があまりない地域だったことが一因かもしれないが、ホームステイ先の家族や先生の家族、日常的に目にする家族を見て、ニュージーランドの人たちから、日頃から家族を愛すること、いつも家族と過ごすことの大切さを再確認することができた。

Riho、ニュージーランド



危機一髪だった マイナス 20 度の夜

私の留学先では、冬は時にマイナス20度以下になる日もありました。そんな真冬のある晩、いつも通りシャワーを浴びていると、なんと寮の火災報知器の音が！慌てながらも急いで着替え、なんとか外に出ました。しかし、その日は休校になるほどの大雪で本当に寒い日。もちろん髪を乾かす余裕はなかった為、外に出た瞬間髪の毛が凍り始めました。咄嗟のことで十分に寒さ対策ができず外に出た為、震えも止まらず、その上休校日で寮の周りの建物は全て閉まっていたので外でみんなとくっつき合いながらじっと待機していました。結果はボヤで済みましたが、カナダの寒さが身に染みた晩でした。

Airi、カナダ



バングラデシュとカタール出身の友達です。2人とも国籍とは違う国にも住んでいたそうです。

Ririka、カナダ

キャラの濃かった友達



現地の現金を持って行こうと
いうことで、かなりの大金をそ
のまま財布に入れて留学中ずっ
と持ち歩いてきた。盗まれるな
ど狙われることは一切なかった
が、現地の人はデビットカード
を頻繁に使うし、結局は自分も
デビットカードしか使わなかつ
たので、現金をあんなに持って
行く必要はなかったと思う。

Megumi

寮のATMでお金を下ろそう
としたら、キャッシュカードが
機械に吸い込まれるという悲惨
なことに。よくよく聞いてみる
と、あのATMは壊れているか
もという情報が入ってきた。そ
れもっと早く知りたかった！
(泣)何度も銀行に訴え、二週
間後によくカードを取り戻
すことができた。人生で1番ヒ
ヤヒヤした出来事だったと思
う。

Natsumi

SIMロックを事前に日本で解
除してくるのを忘れて、現地で
使える携帯を買う羽目に。。現
地の携帯会社のプランだとどれ
も微妙だったので、日系の携帯
会社に申し込むことに。3時間
シドニーのダウンタウンを走り
回ってやっと見つけたのは一苦
労だった。まあ結局SIMロッ
クは自分でできたらしいだけ
どね。機械音痴すぎて自分が嫌
いになりました笑。

Kaito

ニューヨークに旅行しに行っ
た時のこと。ちょうどブラック
フライデーに滞在中だったので、
5番街やアウトレットなどでク
レカを使って買い物三昧。気
がつくと自分の口座に入ってい
る額ギリギリの請求が来てい
ました。クレカの怖さを知った
旅行になりました。

Shohei

アメリカに旅行しに行
ったんですが、フロリダ
からニューヨークへの飛
行機をミスしました。人
生で一番驚きました。

Yoshimi

や つ ち ま つ た エ ピ ソ ー ド !

留学中、ポケットに携
帯を入れておいたが、ポ
ケットから手を離れた瞬
間に、スリに遭いました。皆
さん、携帯はポケットで
はなく、カバンに入れる
ようにしましう。

Rena

学期末試験の日、会場を間違
えました！10分前に教室に入
室しましたが、席が無いと言
われました。調べて数km先に
会場があることを知った時の
冷や汗は忘れられません笑
小雨の中バスと猛ダッシュを
することになるので、会場は
入念に確認しましょう！

Sho

週末は多くの店が早く閉まる
ため、夜に買い物ができな
かったことがありました。特
に日曜日は5時過ぎに閉店
する店もあり、最初は戸惑
いました。

Saaya

最近日本でもコンビニやス
ーパーでマイバッグが必要
になりましたが、チェコでは
前からどこでも当たり前
にマイバック持参で、よく
忘れていた私は現地でマイ
バッグをいくつか買って
いました。最終的にはどこ
にもリュックで移動する
ようにしていました。

Masaki

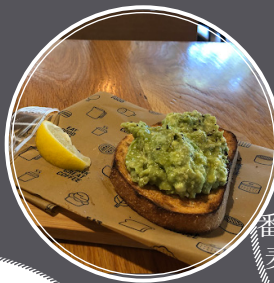
車で左折する際に普段日本
で運転する感じでそのまま
左車線に入ってしまう、
対向車とぶつかりかけた。

Arata

夕方、郊外に海を見に行
った。しかし、そこは人が
住んでいない開発中の
人工半島であった。行きは
それに気付かず駅から
10km程タクシーで向
かったが、帰りは街に
人がいないためタク
シーが走っておらず、
氷点下の気温の中一
人立ち往生に…幸い
その地区を走る最後
のタクシーを見つけ無
事帰ることが出来た
が、冗談抜きで死を
覚悟した…

Takehiko

イギリス料理は不味い事で有名です。私も渡航前、イギリスでは中華料理が一番美味しいと信じていました(笑)でも本当は、イギリス料理もとても美味しいです!例えば、このフィッシュアンドチップス。美味しすぎて何度も食べに行きました:) Momoko



オーストラリアといえば、新鮮な野菜!なかでもアボカドトーストはオーガニック好きなオーストラリア人のハートを掴む朝ご飯の定番。とにかくアボカドとパンの小麦の素朴な味が病みつきになります。チーズやトマトをトッピングするともっと美味しくなるよ! Kaito

Oregano's というお洒落なレストランにある「Pizza Cookie」というアメリカのデザートです。このデザートはこのお店発祥なんです!熱々の柔らかいクッキーの上にバニラアイスが乗っていて、スプーンですくって食べます!! Miu



寮から歩いて20~30分の所にあるInsomnia Cookiesというチェーン店のチョコチップクッキー。温かくてチョコがとろ〜りしているクッキーは、おやつにぴったりです。様々な味があり、アイスサンドにもできるので、何回も食べたくなります。Anna

ピザ屋「PARMA」はピザの種類が豊富!ピザのサイズは小さくて丁度いいし、生地はモチモチしていて美味しい!しかも、学生クーポンが使えるので、サラダとスープもついて4€程というコスパの良さ!控えめにって最高です。Mako

イギリスはご飯が美味しくないってよく言うけど、不味いというよりは味付けが極端に薄かったり濃すぎたりっていう感じだった!でもこのレストランは当たりで特にこれが美味しかった! Rinka



Thanks Giving Holiday の New Orleans Trip で一緒に行動したメンバーと牡蠣専門店でのこのグリルオイスターを食べました。美味しかった~ Keigo

イタリア旅行中に寄ったレストランでの一皿。魚介がふんだんに使われた本場のパスタはめっちゃ美味しかったです! Keita



紅茶です。本場ということもあり、スタンダードなものから珍しいものまで数多くの紅茶がありました。それらを飲んでいくにつれて紅茶が好きになりました。 Saaya



食ポ

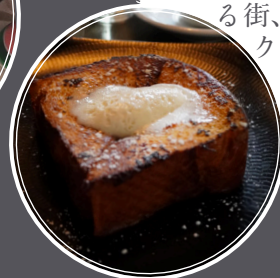


スロベニア風のグーラッシュで、牛肉が入ったスープのような食べ物です。左側はスロベニアでよく食べられているソーセージで、2本が繋がったまま食卓に出てくることが多いです。どちらも人気でとても美味しかったです。 Sumire

焦がしカラメルで外はカリッカリ、中はトロトロで口の中で溶けていくの!「これは世界一のフレンチトーストだよ!」と思わず友達に叫んでしまったほど。「世界一」に偶然出会える街、それがブルックリンです! Chieri



バイソンバーガー!留学先のモンタナ州ではバイソンが大切にされており、友人がバイソン肉をハンバーガーにして振る舞ってくれました。しっかりとした赤身のお肉で、牛肉とは違う独特の味とワイルドな香りがしてとてもおいしかったです! Hanane



やっておけばよかったというか、持っていけばよかったと思ったもの！薬です！！風邪薬とか胃薬とか普段使っている薬などは本当に必要だと思います。留学中に友人の家に泊まり、高熱になった際、友達にもらった薬を飲んだところ、全身から血の気がひいて貧血になって寒気がしました。薬を飲んだ後は立っていられなくなりました。このまま死んでしまうんじゃないかと一瞬思いました。友達は適量分の薬をくれたはずなんです、ヨーロッパの薬は日本人には強すぎることもあるんじゃないかと感じました。風邪薬たくさん持って行っておけばよかった！！

Miwa

掃除についての知識を蓄える。もちろん勉強することも大事だったと思うが、住んでいた寮の部屋が3人部屋でゴミがすぐにたまるような場所でした。日本でも掃除はしていましたが、カビ取りやきれいに床のゴミをとる方法をもっと知っていればストレスフリーな環境にできたかなと思います。身の回りの整理整頓は自分でできるようにするべきだと留学中にとっても感じました。その例の一つが掃除だと私は考えました。

Yuri

コロナのせいで、本場の Bills のパンケーキを食べられなかったし、ビーチは2回しか行けなかったし、サークルも中途半端に終わったし、現地のクラブにも全然行けなかったし、全てがやり残し。

Kaito

留学前の話になるが、第二外国語で選択していた朝鮮語の勉強を疎かにしてきたことです。留学生には韓国人が多く、また私が現地で所属したダンスサークルはk-popの楽曲に合わせて踊るものでした。私が少しでも韓国語の単語を言うと、韓国人留学生もサークルのメンバーも驚き、とても喜んでくれました。韓国語の授業を真面目に受けていれば韓国語を機に会話が広がったり、双方向の会話を楽しめたりしたのになあ、と痛感しました。

Yuma

出不精と、コロナ禍で早期帰国したせいであまり遠出や旅行をできなかったことが心残りです。年間スケジュールが出た時点で、あらかじめどの休みでどこに行くか目処を立てておけばよかったな、と今になって思います。旅行にしても留学中の過ごし方にしても、行きたい場所や、やりたいことをリストアップするだけでなく、いつ行くのか、いつやるのか、どれくらいの期間をかけて取り組むのか、もっと綿密に計画すればよかったです……

Sae

Urbanoutfitters というアパレルのセレクトショップがブラックフライデー中にトラウザーを半額で販売していた。何気なく買ったものであったが、帰国後とても愛着が湧き、何回も着回してすぐボロボロにしまった。同じ柄や同じ形の違うタイプなど5枚ぐらい購入しておけば良かったなーという後悔。

Soichiro

帰国前のダイエット(汗) わたしの場合には帰ってすぐに成人式だったので、もう少し痩せておけばよかったと、とーっても後悔！家に帰ってすぐ測った体重は留学前+6キロでした…。体重計を買わずに気づいたら留学終盤だったので、早い段階でゲットすることが大事だと思いました(笑)

Rinka

アメリカの文化(ミシシッピだったので特に南部文化)について学ぶ授業を履修したが、私たち留学生は基礎知識があまりなかった(聞いたことすらない)ため、先生が何度もがっかりしたような表情をしていたことを覚えている。礼儀としても、多少の文化は調べて行った方がよかったと思った。

Megumi

あれ
やっておけば
よかった
の後悔



Oxfordに観光した時に、ふと目に飛び込み思わず撮った1枚です。元々路地が好きで日本でも自由が丘等に取りに行っていたのですが、こんな景色がそこら中にある街でした！

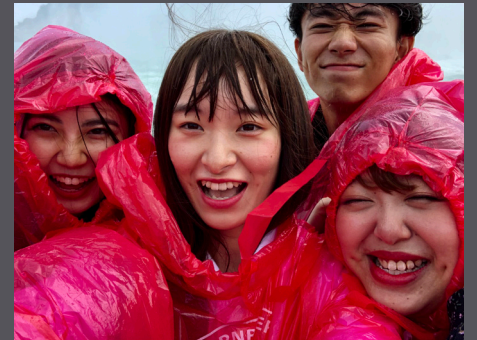
.....
仲良い友達と行ったオーストラリア旅行！



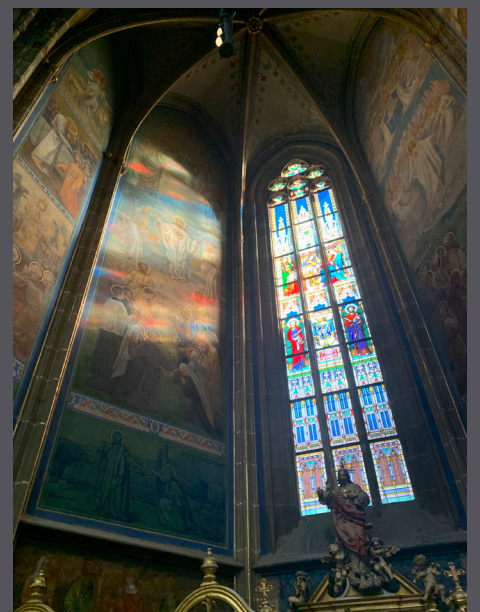
ベストショット



オーストラリアの世界遺産グレートバリアリーフでスキューバダイビングをした時の写真。インストラクターもびっくりするほど珍しい、サメとカメが近くで泳いでいるところを激写しました。GOPROを買ってよかったです！



有名なナイアガラの滝に行けて、フェリーに乗ってびしょぬれになったのが思い出です！



.....
プラハ城のステンドグラス！

私が留学した大学には世界中からの留学生が多くいて、アメリカ人だけでなくいろいろな国の子たちと出会うことができました。この写真は仲良くなったみんなと撮った写真です！





想像通りだった
カリフォルニアのサンセット。



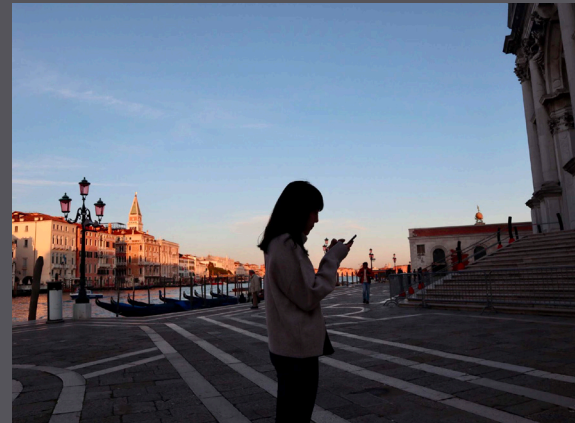
高3の時の留学で仲良かったメンバーです。
2年ぶりに会いたいといわれたので、フロリ
ダまで会いに行ってきました。会いたいと
言ってもらえたのが嬉しかったです。



朝撮ったウルル。



やっぱりイギリスといえば Fish & chips !
それでもやっぱりお店によって油っぽくて
ヘビーなものもあったりだけど、ここのは
サクサクで本当に美味しかった! 何回行
ったんだろう~ (笑)



これは、留学先で一番仲の良かった友人のバースデーパーティーの参加したときの写真です。洋面で見るようなパーティーの光景が目前に広がっていました。彼女の友人もたくさん来ていて、新しく現地の学生と繋がるステキな機会にもなりました。留学中に最も「今私アメリカにいるんだなあ〜」と感じた1日でした! とても楽しかったです!



